THE CAMPBELL COLLABORATION
Campbell Plain Language Summary 2016

食用サプリメントは対象を定め、監視をした場合により効果がある

Bart Verweij / World Bank (CC by 2.0)

サプリメントの提供は、幼く貧しい子供に対してより効果がある

このレビューの目的は？
このキャンベル・システマティック・レビューは、食用サプリメントが、五才未満の貧しい子供の健康を改善するのかを調べる。レビューは、32件の調査：21件の無作為化比較試験（RCTs）と11件の前後比較研究（CBAs）をまとめる。

食用サプリメントは、栄養の面において、小さな効果がある。幼く貧しい子供に対しての場合、持ち帰りではなく、デイケアセンターもしくは給食センターで与える場合、サプリメントがよりエネルギーを含む場合、より厳密に監視が行われた場合により効果がある。精神運動の発達に対してポジティブな効果があるが、認知発達に対する効果についての明らかなエビデンスはない。

レビューは何を調べたのか？
毎年100万人の子供達が亡くなる低・中所得国では、栄養不足は深刻な問題である。また栄養不足は、認知機能、学業成績、健康を悪化させる。サプリメントの提供プログラムは、不足しているエネルギーを補うためのものである。これらのプログラムは、多くのエネルギーを含む飲用もしくは食用のサプリメントを与え、通常の食事と共に摂取できるようにする。

このレビューは、生後３か月から５才までの貧しい子供を対象とした、食用サプリメント提供プログラムが、健康を改善する効果があるのか調べる。

どの調査が含まれているか？
このレビューに含まれた調査は、食用サプリメントが子供の肉体的、精神的な健康に与える効果を、プラシーボもしくはサプリメントの提供をしない場合と比較している。サプリメントの提供は、イケアセンター、給食センターもしくは家で行われたものを対象として、病院で行われたものは除外した。

レビューは32件の調査を含み、この内21件が無作為化比較試験（RCTs）、11件が前後比較研究（CBAs）である。含まれた中で、多数（29件）の調査は、低・中所得国で行われたものである。

By UK DFID-Two girls (CC by 2.0)

どのぐらい最新の情報が含まれているか？

レビューの著者は、2014年1月までに出版された調査を検索した。このキャンベル・システマティック・レビューは2015年5月4日に出版された。

キャンベル共同計画とは何か？

キャンベル共同計画は、系統的レビューを出版する国際的かつ自発的な非営利研究ネットワークである。我々は、社会科学と行動科学において、プログラムについてのエビデンスの質を評価しまとめている。我々の目的は、人々のより良い選択と、より良い政策決定を支援することである。

この要約について

この要約は、キャンベル・システマティック・レビュー 2015:11「Food Supplementation for Improving the Physical and Psychosocial Health of Socio-economically Disadvantaged Children Aged 3 months-5 years」著者Elizabeth Kristjansson, Damian K Francis, Selma Liberato, Maria Benkhalti Jandu, Vivian Welch, Malek Batal, Trish Greenhalgh, Tamara Rader, Eamonn Noonan, Beverley Shea, Laura Janzen, George A Wells, Mark Petticrew (DOI: 10.4073/csr.2015.11)を基にしてBianca Albers（Centre for Evidence and Implementation, Save the Children Australia）により準備が行われた。その後、要約はAnne Mellbye（R-BUP）によりデザインが行われ、Howard WhiteとTanya Kristiansen（キャンベル共同計画）により編集が行われた。

レビューの主な知見は？

食用サプリメントは５才未満の貧しい子供達の健康を改善するために効果があるか？

低・中所得国での貧しい子供達へのサプリメントの提供は、体重、成長に対して小さな効果がある。より貧しく、幼く、栄養不足の子供は、サプリメントの提供に反応して成長する。

サプリメントの提供が持ち帰りの場合には、失われるものがある。すなわち、サプリメント提供プログラムは、デイケアセンターで行われた方が効果があり、より厳密な監視も似たように効果を持つ。

単一、複数回の介入は共に子供の体重を増やすことに効果があったが、効果量は複数回の方が大きかった。また、多くのエネルギーを含む食事は効果が大きい。

メンタルと筋肉の働きを必要とする技能（ハイハイ、歩行、喃語など）である精神運動の発達にポジティブな効果がある。しかし、認知発達に対しては、効果に関する明らかなエビデンスはない。

このレビューの知見は何を意味するのか？

対象を定め、厳密に監視をすることで、食用サプリメントの提供プログラムは効果を増すかもしれない。

サプリメントは少なくとも推奨されている食事摂取基準の30パーセントの割合を含むべきである。対象とする子供へのサプリメントが分配されることを避けるためにも、家族の分もサプリメントを与えることを検討するべきである。

食用サプリメントが、幼く貧しい子供の心理社会的発達に与える影響を調べるための試験と資金が必要である。また、高い質の介入とスケールの大きいサプリメント提供プログラムの実施についての研究も必要である。

The Campbell Collaboration
info@campbellcollaboration.org
Phone: (+47) 23 25 50 00

Mailing address:
P.O. Box 4004, Nydalen
N-0403 Oslo, Norway

Visiting address:
Pilestredet Park 7
(Entrance from Stensberggata)

Website:
www.campbellcollaboration.org